

重要文化財

開明学校

西日本最古の

モダンな小学校校舎



西予市商工会 TEL: 0894-62-1240

基本情報

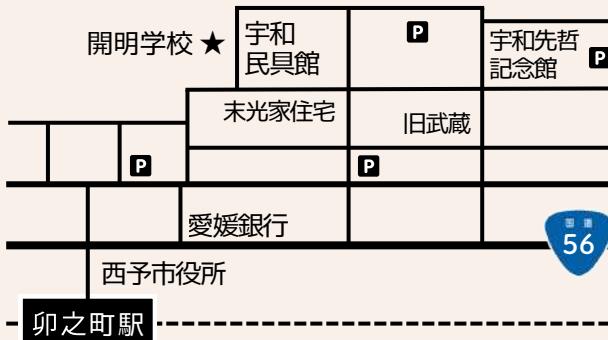
【利用案内】

開館時間：9時～17時（入館は16時30分まで）
休館日：月曜日・年末年始（12月28日～1月3日）
※月曜日が祝日の場合は、火曜日が休館日となります

【入館料（入館料は宇和民具館とセット）】

一般・・・・・・・・700円
高校生 / 大学生・・・・420円
中学生以下・・・・無 料

【交通案内】



●自家用車でお越しの方
宇和先哲記念館の駐車場をご利用ください。

●バス／大型車をご利用の方
事前予約が必要となります。
下記までご連絡ください。
連絡先（西予市商工会）
TEL: 0894-62-1240



【連絡先】

〒797-0015
愛媛県西予市宇和町卯之町3丁目109番地
TEL/FAX: 0894-62-4292
MAIL: kaimeigakkou@seiyō-kankou.or.jp



～明治の授業～

体験

開明学校には明治～大正時代の教室が再現されており、その教室で『明治の授業』を体験することができます。袴姿の先生が、掛図などを使って『読書（よみかき）・算術・修身・歴史・唱歌』の授業を行います。



【料金】1名様 300円（別途入館料が必要です）

※授業の時間は約30分

※3名様から

※3名に満たない場合でも、3名様分の料金をお支払い
いただければ対応可能です

※1週間前までに要予約

～姉妹館提携を結んでいる擬洋風校舎～



国宝 旧開智学校校舎

〒390-876
長野県松本市開智2丁目4番12号
TEL: 0263-32-5725
FAX: 0263-32-5729





しんぎどう 申義堂

木造 / 建築面積105m²
瓦葺 / 平屋

開明学校の前身となった私塾で、明治2(1869)年に左氏珠山の門下生や町民の有志が私財を出し合い建築したもので
す。

申義堂の名前は、中国の学者『孟子』の『義を申(かさ)ねる』という言葉が由来となっています。市指定文化財。



《明治時代の開明学校と子どもたちの姿》



明治三十七年度 尋常科卒業生



かいめいがっこう 開明学校

木造 / 建築面積169.4m²
二階建 / 寄棟造 / 浅瓦葺

明治15(1882)年、町民の寄付によって建てられた擬洋風の小学校校舎です。アーチ形の窓に外国製のガラスを使用するといった洋風な造りを取り入れる半面、正面玄関には日本古来の伝統的建築様式である唐破風(からはふ)や開明学校の『開』の文字が刻まれた飾り瓦を用いるなど、和と洋を融合させたモダンな建築となっています。



平成9(1997)年、国の重要文化財に指定され、現在は教育資料館として学校の歴史を紹介しています。教科書の代わりに使用した『掛図』が豊富に残されているのも特徴です。



こめはくぶつかん 米博物館

第1校舎 / 第2校舎 / 講堂

かつての宇和町小学校校舎群が残る博物館です。第1校舎・第2校舎・講堂の三棟を移築保存し活用しています。開明学校の後身の小学校校舎で、いずれも市指定文化財。昭和3(1928)年に建築された第1校舎は、柱のない109mの長い廊下が特徴です。講堂は大正4(1915)年、第2校舎は大正10(1921)年に建築されました。

沿革

- 明治2(1869)年
左氏珠山の門下生や町民の有志が私財を出し合い
私塾『申義堂』が落成
- 明治5(1872)年
申義堂を校舎として『開明学校』を開校
- 明治15(1882)年
現存の校舎が落成
- 大正4(1915)年
講堂が落成
- 大正10(1921)年
第2校舎が落成
- 昭和3(1928)年
第1校舎が落成
- 昭和51(1976)年
学校の歴史を紹介する教育資料館として、明治時代
から昭和初期の頃の教科書などの展示を開始
- 平成9(1997)年
国の重要文化財に指定

